



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社
コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 育廣
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 阿野 健二郎 (TEL) 03-3276-2036
四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	216,360	1.1	1,699	14.0	2,049	25.0	1,348	13.8
27年3月期第1四半期	214,042	3.9	1,490	16.0	1,638	29.7	1,184	112.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,660百万円(48.3%) 27年3月期第1四半期 1,119百万円(△45.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	15.23	—
27年3月期第1四半期	13.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	247,795	46,991	17.6
27年3月期	259,786	45,692	16.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 43,703百万円 27年3月期 42,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	430,000	0.8	2,900	△4.8	3,200	6.8	2,100	5.8	23.72
通期	880,000	1.1	6,200	△8.7	6,300	△4.2	3,900	△1.9	44.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期1Q	88,605,625株	27年3月期	88,605,625株
28年3月期1Q	56,309株	27年3月期	55,423株
28年3月期1Q	88,549,612株	27年3月期1Q	88,551,274株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和、円安傾向等を背景に企業収益の改善傾向が続く中で、設備投資の増加や雇用・所得環境に持ち直しの動きが見られる等緩やかな回復基調で推移しました。また、海外においては米国で緩やかな景気回復が続きましたが、一部新興国での景気減速が見られました。

このような環境の下、当社グループの業績は鉄鋼及び非鉄金属セグメントを中心に堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,163億60百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は16億99百万円（同14.0%増）、経常利益は20億49百万円（同25.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億48百万円（同13.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は海外向けの取扱量は増加したものの、国内向けの取扱量が減少し、国内外ともに価格は下落しました。線材製品は国内外ともに取扱量が増加し、海外向けの価格も上昇しました。棒鋼製品は国内外ともに取扱量が増加しました。

この結果、売上高は757億52百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は10億35百万円（同9.0%増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料の取扱量は増加しましたが、価格が大幅に下落しました。冷鉄源は鉄スクラップの取扱量が減少し、価格も下落しました。チタン原料は取扱量が増加し、価格も上昇しましたが、合金鉄は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は712億64百万円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント利益は2億78百万円（同8.5%減）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は自動車向け端子材用銅板条の取扱量が減少しました。アルミ製品は自動車向けアルミ部材の取扱量が増加しましたが、輸出用缶材、鉄道車両用アルミ部材の取扱量が減少しました。非鉄原料はアルミ・銅地金、銅スクラップの取扱量が大幅に増加しました。

この結果、売上高は570億51百万円（前年同四半期比15.6%増）、セグメント利益は4億19百万円（同23.0%増）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は圧縮機、アルミ加工機械の取扱いが減少したものの、金属成膜装置、製鉄関連資機材の取扱いが増加しました。情報関連商品は液晶用電子材料、ハードディスク関連装置の取扱いが増加しました。

この結果、売上高は173億81百万円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益は1億25百万円（前年同四半期は11百万円の損失）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は国内の造船向けの取扱量が増加しましたが、化工機向けが減少し、輸出は中国の造船向け、韓国のプラント向けの取扱量が減少しました。溶接関連機器は汎用溶接機、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いが増加しました。生産材料は溶剤原料及びステンレス材の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は94億93百万円（前年同四半期比2.9%減）、セグメント利益は28百万円（同63.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,477億95百万円となり、前連結会計年度末比119億90百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金と前払金の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,008億4百万円となり、前連結会計年度末比132億90百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債のその他に含まれる預り金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は469億91百万円となり、前連結会計年度末比12億99百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加によりその他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月28日に公表した平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,635	9,036
受取手形及び売掛金	149,776	154,387
商品及び製品	31,083	31,358
仕掛品	312	374
原材料及び貯蔵品	589	600
前払金	12,736	5,325
繰延税金資産	789	503
その他	4,651	4,493
貸倒引当金	△132	△222
流動資産合計	218,443	205,858
固定資産		
有形固定資産	7,172	7,458
無形固定資産	1,062	995
投資その他の資産		
投資有価証券	29,849	30,330
その他	3,392	3,280
貸倒引当金	△133	△127
投資その他の資産合計	33,107	33,484
固定資産合計	41,343	41,937
資産合計	259,786	247,795
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,843	126,977
短期借入金	31,293	32,212
未払法人税等	1,384	284
賞与引当金	922	493
その他	23,401	14,497
流動負債合計	187,846	174,465
固定負債		
長期借入金	23,116	23,054
役員退職慰労引当金	54	50
退職給付に係る負債	693	699
その他	2,384	2,534
固定負債合計	26,248	26,338
負債合計	214,094	200,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	28,907	29,811
自己株式	△17	△17
株主資本合計	37,243	38,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,261	3,633
繰延ヘッジ損益	△44	22
為替換算調整勘定	2,029	1,900
その他の包括利益累計額合計	5,246	5,556
非支配株主持分	3,202	3,288
純資産合計	45,692	46,991
負債純資産合計	259,786	247,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	214,042	216,360
売上原価	207,936	209,537
売上総利益	6,106	6,823
販売費及び一般管理費	4,616	5,124
営業利益	1,490	1,699
営業外収益		
受取利息	9	30
受取配当金	316	500
デリバティブ評価益	219	72
持分法による投資利益	107	66
雑収入	119	111
営業外収益合計	772	781
営業外費用		
支払利息	149	167
売掛債権譲渡損	155	115
為替差損	234	93
雑損失	84	54
営業外費用合計	624	431
経常利益	1,638	2,049
特別利益		
固定資産売却益	400	—
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	403	—
税金等調整前四半期純利益	2,042	2,049
法人税、住民税及び事業税	513	463
法人税等調整額	326	211
法人税等合計	839	675
四半期純利益	1,202	1,373
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,184	1,348

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,202	1,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345	361
繰延ヘッジ損益	△36	66
為替換算調整勘定	△309	△116
持分法適用会社に対する持分相当額	△81	△24
その他の包括利益合計	△82	287
四半期包括利益	1,119	1,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126	1,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	70,443	79,870	49,368	15,636	9,775	225,093	106	△11,157	214,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	—	—	0	—	△0	—
計	70,443	79,870	49,369	15,636	9,775	225,094	106	△11,158	214,042
セグメント利益又は 損失(△)	949	304	340	△11	76	1,659	1	△22	1,638

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	75,752	71,264	57,050	17,381	9,493	230,941	89	△14,669	216,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1	—	—	1	—	△1	—
計	75,752	71,264	57,051	17,381	9,493	230,942	89	△14,671	216,360
セグメント利益又は 損失(△)	1,035	278	419	125	28	1,886	△11	174	2,049

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。